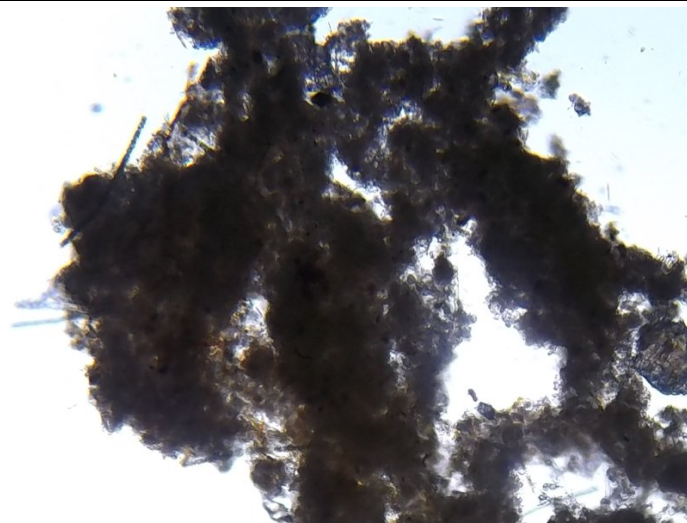




2015年8月26日9時、上武庫橋の濁流



2015年8月26日採水サンプル



24時間静置後の沈殿物 (floc) 40倍



ツリガネムシ 活性汚泥の代表種の一つ 400倍



ハリケイソウ左棒状 ネンジュモ右螺旋状 100倍



24時間静置後の沈殿物 (自然乾燥した状態)

2015年8月25日11号台風は関西直撃を免れ、武庫川流域での降水量も少なく洪水には至らなかった。しかし通常降雨時より土砂流入量が多くなるものと考え採取、静置試験を行った。

採水量：30 採水時の透視度：10cm 24時間静置後の透視度：40cm 沈殿物量：100mg弱 (秤の感量限界)

- ① 沈殿物から土砂分は認められなかった。(静置後も透視度が高くならず微少な粘土分の浮遊が考えられる。)
- ② 沈殿物は全て微生物の塊のようであった。
- ③ ツリガネムシ、ネンジュモ、ケイソウ、その他多種多様な微生物が濁り原因の一つと考えられる。